

# NPO 市民団体と学生との交流会 第4弾

## 「寄りそえば、心も通う認知症」

--- 認知症になっても安心して暮らせる社会を ---

公益社団法人 認知症の人と家族の会 山形県支部

(山形市小白川町 / <http://www.alzheimer.or.jp/>)

い が ら し も と の り  
ゲスト：同会 世話人 五十嵐元徳さん

**7月13日 (金) 16時20分~17時50分**  
**(人文1号館1階) 102教室 (参加無料)**

交流会の最終回のテーマは「認知症」です。“自分になるわけがない”と言う人はさすがにいないでしょうが、“なったらイヤだな”と思っている人は多いでしょう。また、孫として、おじいちゃんやおばあちゃんの車の運転を心配している人もいるかもしれません。

その認知症をめぐる環境は、実は、大きく変わりつつあります。認知症本人自身の発言や主張が重視されるようになり【左写真は当事者からの発信の例】、認知症になっても安心して暮らせる社会が求められています。今回はそうした最新情報をうかがうとともに、これからの家族と自分をも考える機会としましょう。関心のある方は学部・学年、大学を問わず、是非おいでください。

なお本交流会は人文社会科学部（人文学部）の授業「公共政策・地域課題実践演習A2（旧：地域づくり特別演習（二））」の一環としておこなうものですが、未履修の方、他学部の学生、教員の方ももちろん大歓迎です。

問い合わせ先：松本邦彦（人文社会科学部 地域公共政策コース / 電話 023-628-4250）

